



R8.7.27 令和8年度第3回小高区義務教育学校設立検討準備協議会資料
(南相馬市教育委員会事務局教育総務課)

【保護者懇談会の意見に対する市教委の考え方と今後の進め方について】

1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(1)今後の進め方 ①二段階の進め方について	● フェーズ1の部分は市教育委員会で決めてもらっていい部分。(フェーズ2の内容を聞いてほしい) ● フェーズ1の判断はフェーズ2の内容次第。 ● 賛否をとるアンケートなどをとればよいのではないか。 ● 結論ありきではないか。	■ 保護者は、施設一体型の義務教育学校という大きな方向性を決める際に、フェーズ2で協議する内容(教育活動、施設整備等)について関心が高く、より具体的な情報を知りたい。 ■ 市教委として、令和7年9月に一度「施設一体型義務教育学校」を提案していることもあり、結論ありきだと感じている保護者が一定数いる。	◆ フェーズ2で検討する項目(教育活動、施設整備等)で特に保護者が関心が高い点について、フェーズ1の段階から「基本的な考え方」を提示し、理解促進に努める。 ◆ 市教委の考え方や保護者が不安に感じる点を共有。オンライン意見箱等も活用し、丁寧に声を吸い上げる。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【未就学児保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(1)今後の進め方 ①二段階の進め方について	● 検討の進め方については、この方向性でいいのではないか。 ● 地域でどういう子育てをするのかという話し合いを持つ必要がある。 ● 義務教育学校への再編と小高の教育環境をどうするのかを分けて考えてはどうか。	■ 未就学児の保護者は、自分たちの子どもが成長する上で、より良い教育環境になるかどうかの視点で見ている。 ■ 子ども達を中心に考えながら、地域との関わりなどについても関心がある。	◆ 現在の学校の状況や義務教育学校について情報を共有し、イメージしやすくなるような情報発信に努める。 ◆ 「子ども達をどう育てていきたいのか」という視点を持ち、子ども達の教育環境を具体的にどうしていくのか、どう変わっていくのかを伝えられるような情報発信に努める。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教育委員会としての考え・今後の進め方
(1)今後の進め方 ②「大きな方向性」の 前に知りたいこと・ 心配なこと	● 45分、50分と日課が異なる際の授業の進め方はどうなるのか。 ● 9年間同じ校舎で過ごすことなどは子どものストレスにならないのか。 ● 部活動はどうなるのか。	■ 義務教育学校の情報が不足しており、具体的な情報を必要としている。また、具体的にイメージできないため、不安もある。 ■ 義務教育学校となった場合の具体的な変化（部活動や学校生活）について関心を持っている。	◆ 具体的な他市の事例を情報としてまとめ、保護者へ共有できるよう準備を進める。 ◆ 保護者の関心が高い部活動や学校生活がどう変わるのかについて、具体的な情報としてまとめる。また、部活動については、地域展開・希望制の加入等の現在の状況を説明し、理解促進に努める。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【未就学児保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(1)今後の進め方 ②「大きな方向性」の前に知りたいこと・心配なこと	● 施設一体型義務教育学校になると、子ども達の環境がどう変わるのか、より良い教育環境の具体性がわからない。	■ まだ未就学児の保護者ということで、現在の学校の状況も含め、情報がわからない部分があり、具体的な情報が必要としている。	◆ 現在の学校の状況や義務教育学校について情報を共有し、イメージしやすくなるような情報発信に努める。 ◆ 「子ども達をどう育てていきたいのか」という視点を持ち、子ども達の教育環境を具体的にどうしていくのか、どう変わっていくのかを伝えられるような情報発信に努める。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(2)今後の学校のあり方 ①施設一体型義務教育学校を目指すことについて	【一体型：賛成】 ● 将来的な教員数の減を考えると一体型の方がよい。 ● 児童生徒数が増えることで教育活動の幅が広がる。様々な経験ができるようになる。 【一体型：反対】 ● 小学校から中学校という環境変化は大切。 ● 必要性を感じない。 (現状に不満がない、現状のまま課題への対応ができないか) 【その他】 ● どっちでもいい。	■ 中学校進学という環境変化による成長機会が失われることに対する不安を感じている保護者が一定数いる。 ■ 現状の環境に満足している保護者が多く、無理に施設一体型義務教育学校にする必要性を感じていない保護者が一定数いる。 ■ 保護者は現在の学校の枠組みを維持しつつ、課題解決ができないかの視点で考えている。	◆ 現状の課題や施設一体型義務教育学校のメリットを改めて示すとともに、懸念点への具体的な対策案を提示する。(第一段階では方向性を示し、詳細は第二段階で検討) ◆ 施設一体型義務教育学校になることで、子ども達の教育環境がどうより良くなっていくのかをイメージできるような伝え方を工夫する。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【未就学児保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(2)今後の学校のあり方 ①施設一体型義務教育学校を目指すことについて	● 子どもたちにとって良くなることであれば、いいと思う。 ● 友達関係など、何かあった時でも、学校の中で安心して過ごせる場所があるといい。 ● 小高ならではの特色を生かし、高校まで連携できると良い。 ● 他市の義務教育学校の事例があると判断しやすい。	■ 未就学児の保護者は、自分たちの子どもが成長する上で、より良い教育環境になるかどうかの視点で見ている。 ■ 学校が子ども達にとって安心して生活できる場所となることを願っている。 ■ 小高の特色を生かした学校づくりの視点がある。 ■ 他市の状況や、現場の声など比較検討できるような情報を求めている。	◆ 「子ども達をどう育てたいのか」という視点により、教育環境を具体的にどう変えていきたいのかが伝わる情報発信に努める。 ◆ 小高区の特色を生かした学校づくりについて、フェーズ1の段階から「基本的な考え方」を提示し、検討する。 ◆ 現在の学校や義務教育学校の情報共有を図り、イメージしやすい情報発信に努める。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(2)今後の学校のあり方 ②判断のために不足している情報	● 他市の事例を提供してほしい。 ● 先生が減った際の影響を教えてほしい。 ● 場所はどこになるのか。 ● 9年間は制服になるのか、私服になるのか。	■ 義務教育学校の情報が不足しており、具体的な情報を必要としている。また、具体的にイメージできないため、不安もある。	◆ 他市の先進事例（成功例・課題解決例・メリット・デメリット）を収集し、より具体的な情報提供を行う。 ◆ 保護者が不安に思う懸念点への具体的な対策案を提示する。（段階を分け、第一段階では方向性を示し、詳細は第二段階で検討）



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒・未就学児保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(3)その他	● 現場の先生たちの意見を知りたい。	■ 保護者は現場の生の声として、子ども達と関わってくれている先生たちの意見を知りたいと考えている。 ■ 今回、小高小・小高中の成果・課題を把握するため、学校へアンケート調査を実施しているが、現場の声が反映されていることが上手く伝わっていなかった。	◆ 小高小・小高中の成果・課題をまとめた中には、学校の生の声が反映されていることが伝わるような情報発信を行う。 ◆ 学校との情報共有を図りながら、2段階で検討を進める。 ・ 第一段階（学校の形を決める）：保護者地域、市教委側で検討 ・ 第二段階（具体的な教育内容）：専門的な知見から教職員が主体となり、具体的な内容を検討



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(3)その他	● 認定こども園や地域との連携をしてほしい。 ● 教員の数が減った際は、市が教員を独自に採用すればよいのではないか。	■ 小高の特色を生かし、幼・小・中の連携や、地域とのつながりを望む声がある。 ■ 保護者は現在の学校の枠組みを維持しつつ、課題解決ができないかの視点で考えている。	◆ 幼・小・中の連携を含め、小高区の特色を生かした学校づくりについては、フェーズ2において具体的に検討する。 ◆ 市教委の考えや背景（現状の課題、義務教育学校のメリット・デメリット）を補強する資料を作成し、情報を共有を図り、理解促進に努める。



1. 意見交換の要旨と市教委の考え方【児童生徒保護者】

意見交換テーマ	保護者からの主な意見	意見に対する考察・分析	市教委としての考え・今後の進め方
(3)その他	● 現在、別で協議している旧小高商業跡地利用の話も一緒に検討出来ないか。	■ 学校の再編に合わせ、まちづくりの視点で、旧小高商業跡地利活用に関心がある保護者もいる。	◆ 子ども達にとって、より良い教育環境の構築を図るため、担当課とも連携を図り、旧小高商業跡地の利活用の可能性についても検討を行う。



2. 総括と今後の進め方

【総括】

区 分	主 な 傾 向
児童生徒保護者	● 賛成の声がある一方で、今の学校に満足しているため、今の枠組みを変えることに対して、一部反対や不安の声がある。 ● 現在の課題を学校の形を変えることではなく、改善するべきではないかと考えている。 ● 義務教育学校に対する必要性を感じていない。
未就学児保護者	● 子どもがこれから学校に入ることになるため、子どもにとって良い環境を整えてあげたいと考えている。 ● 施設一体型の義務教育学校にすることで、より良い教育環境になるのであればと肯定的な意見。
共 通	● 判断するためには、具体的な情報を提示してもらいたいと考えており、イメージできる情報を必要としている。 ● 小高ならではの特色・魅力ある学校づくりを望んでおり、地域との連携を望む声もある。



2. 総括と今後の進め方

【今後の進め方】 懇談会での意見を踏まえ、次のステップにより進める。

(7月の協議会に提案)

ステップ1

(懇談会の意見を市教委として整理)

寄せられた意見（カテゴリ別）に対する市教委の考えを提示。

(8月～9月の協議会に提案予定)

ステップ2

(疑問点の解消)

1. 「そもそも、なぜ学校の形を変える必要があるのか」について協議
 - 「今の学校ではだめなのか」「小中一貫教育と何が違うのか」といった意見に対し、市教委の考えや背景（現状の課題、義務教育学校のメリット・デメリットなど）の資料を補強して協議
2. 「新しい学校、どんな学校になるのか」の基本的な考え方について協議
 - 「詳細が不明で判断できない」という意見に対して、新しい教育課程や特色ある教育活動、部活動、学校の場所など、新しい学校像の基本的な考えを提示して協議

(10月の協議会に提案予定)

ステップ3

(意識調査)

全保護者対象の意識調査の実施

- 上記2つのステップの協議終了後、全保護者を対象に、方針への意向を伺う意識調査を実施することについて、その内容等を協議